



近畿地方でも有数の多様な自然環境をもつ円山川には、貴重種をはじめ84種類ものトンボが生息している。

円山川に住むトンボたち



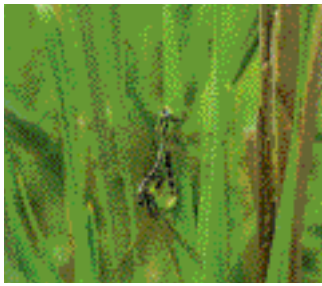
ヒヌマイトトンボ

今から約30年前に、茨城県の濁沼(ひぬま)で発見されたことからその名が付いた、ヒヌマイトトンボ。現在日本版レッドデータブックに絶滅危惧種として記載されており、但馬では平成4年に円山川下流のヨシ原で生息が確認された。体長は約3センチと小さく、少し塩分が混じり、他のトンボがいないような環境に住んでいる。



ハッチョウトンボ

日本に生息するトンボの仲間では最も小さく、雄は小さなアカトンボといった感じ。体長は2cmにも満たず、後ろの羽の長さも1.5cmくらいしかない。円山川下流域の山すその湿地や休耕田に生息している。縄張り行動の研究によると、オスには縄張りをもってメスを待つものと、草の陰に隠れて縄張りの主がいない間にメスを横取りするものの、2タイプがあると報告されている。



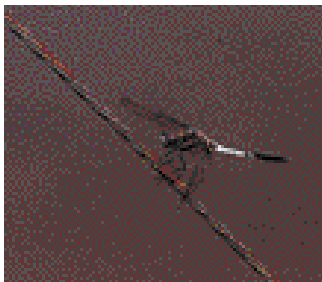
アオヤンマ

円山川下流域の小さな沼地に住むアオヤンマ。ヨシの茎葉の緑と同じ鮮やかな体色をもち、寸胴型の体つきをしている。同じような環境に住む仲間としてネアカヨシヤンマがいる。これらの種が生息する沼は、とても自然が豊かな沼だといわれている。



アキアカネ

代表的な赤とんぼの一種。羽化直後の夏の盛りは涼しい高原で過ごし、秋になると産卵のために平地に下りてくる。何千、何万という群れを作って、水辺で集団産卵する。但馬には15種類のアカトンボ類があり、それぞれに生息場所が池や沼、湿地、河川、水田と微妙に異なる。



シオカラトンボ

円山川流域のみならず、いたる所で見ることのできるシオカラトンボ。その眼は緑青色でとても美しい。メスは黄土色で、俗にムギワラトンボといわれている。オスは成熟すると、体が青くなる。

黄金色に実った稲に舞うトンボたち。豊かな自然が残る但馬では、こうしたのがな光景を当たり前のように見ることができません。しかしながら、トンボと一口に言っても種類は実に豊富。現在日本には、182種が確認されていますが、但馬はその中でも84種類が生息するトンボの宝庫。これは近畿地方に分布する103種の80%にあたります。では、なぜ但馬にたくさんの種類のトンボがいるのか。

トンボは幼虫時代を水中で過ごすため、その生活場所は河川の本流や支流だけでなく、池や沼、湿地、水田などいろいろな環境に生息します。但馬の自然をトンボの生息環境と照らし合わせてみると、河川は1000メートル級の山々から流れ出る源流から、日本海に注ぐ河口までを含み、池や沼も谷間や河川下流域に点在しており、多種多様な環境が存在します。

このような但馬の豊かな水辺の環境があるからこそ、たくさんの種類のトンボが生息しているのです。特に母なる川・円山川では、但馬に生息するほとんどのトンボを見ることができます。その中には、平成4年に発見され絶滅危惧種に選定されている「ヒヌマイトトンボ」や、体長が1センチあまりの日本一小さなトンボ「ハッチョウトンボ」といった珍しいトンボも確認されています。わずか20数キロメートルの間に、汽水域「原野」「河畔林」「丸石河原」という4つの環境がすべてあるという、近畿地方でも有数の多様な河川環境が生き物の生活を支えているからでしょう。

協力：国土交通省豊岡河川国道事務所
資料：円山川あれこれ

9月1日より
カニシーズンの予約受付開始
カニフルコース 平日1泊2食 16,800円より
地元活カニフルコース 平日1泊2食 36,750円より

送迎あり 要相談

<http://www.kumihama-suzuran.com/>

11月1日
リニューアルオープン

神様がくれた、お湯と恵み。

丹後 神の温泉
旅館

天然温泉熊野の湯が
たっぷりとおふれ出す
居心地の良さをそのままに
心あたたまるお宿です

展望露天風呂

京丹後市久美浜町葛野 ☎ 0772-83-0464

但馬街道



琴弾峠

ことびきとうげ

【養父市(八鹿町～大屋町)】

多くの歌人や俳人たちが
思いを寄せた琴弾峠。
峠の頂上付近には、
落城の悲話を伝える
袖ヶ池がひっそりとたたずむ。

至養父市岡宮 国道9号 至養父市八鹿町八鹿



養父市の旧八鹿町と旧大屋町の旧町境にあたる琴弾峠。

琴弾の語源についてはこちら

頂上付近にある喜撰法師の歌碑



たことは分かっていませんが、峠の松風が琴の音に聞こえた」と、こたづけ(小峠)が詠じた」といった説が伝えられています。

地名がそのまま峠の名前になるこ

とが多い中で、琴弾という風流な名前が付けられているのは非常に珍しいそうです。周りの山々に比べて標高が低く、そのやさしい山並みがその名付けさせたのかも知れません。「いつの世にしろへの音の絶えにけむ 琴弾山の声のきこえぬ 但馬なる琴弾山の神のよの しらべや安ら六峰の松風」

これは六歌仙のひとり、百人一首

また、琴弾峠を語る上で忘れてはならないのが、八木城にまつわる伝説です。戦国期、琴弾峠を挟んで北側に八木城、南側に三方城がそびえていました。ある時、三方城が落城の憂き目にあい、城主の夫人は生家である八木城へ帰りました。



悲話の残る袖ヶ池と、三方城夫人の夫の供養塔

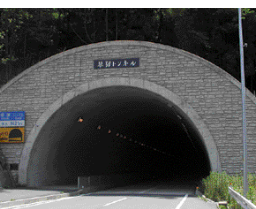
気がつく、夫人の姿はありませぬ。侍女はやつと、の思いで池のほとりに、夫人の姿を見つけた。しかし、池には姿がなく、ただ夫人の片袖が浮いているだけ

それにかわって、旧峠道を往来する車はほとんど無くなりましたが、そのやさしい山並みは今も健在です。これからもその姿は数多くの人々を魅了していくことでしょう。

協力：養父市立大屋公民館
国土交通省豊岡河川国道事務所
資料：大屋町の歴史？大屋のむかし話

た俳人たちの句碑と隣り合い、その歌碑がたずんでいます。地元の人々だけでなく、多くの歌人・俳人も歌心をそそられ、琴弾に魅せられたことがわかります。

夫人の侍女は気落ちした夫人を元気づけるため、三方城の見える琴弾山の平地に誘い、「奥方、一曲弾いて、みなに聴かせてあげてください」と琴を取り出しました。



新生養父市をひとつに繋ぐ「琴弾トンネル」

元々琴の上手な夫人でした。が、弾けば弾くほど夫人の目には輝きが増し、聴く方も夢を見ているようなつとりのとした気分になつてしまいました。

でした。それからだれということなく、この池を「袖ヶ池」と呼び、今でも大屋の昔話として語り継がれています。こつた幾多の伝

福祉・介護のことならプロにお任せ！



自分で起き上がるようになったんです

手すりをつけると楽です

できるだけ自分でするよう工夫します



とっても使いやすい車椅子なの



常設の展示場もあります
手にとって、実際に使ってみてください
何でもお気軽にご相談ください

マリヤ医科興業株式会社

兵庫県豊岡市寿町10-10 TEL.0796-22-6155 定休日 日・祝